

# 2019年10月期 期末決算説明資料

## 株式会社ソフトウェア・サービス

代表取締役会長

宮崎 勝

取締役社長

大谷 明広

取締役経営管理部長

伊藤 純一郎

# 留意事項

このプレゼンテーション資料は、PDF形式で当社ホームページ『IR情報/IR資料室：決算説明資料等』に掲載します。

URL <https://www.softs.co.jp/ir/financial/setumei.html>

このプレゼンテーション資料には、2020年1月8日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。国内外の経済環境・競合状況の変動等にかかわるリスクや不確定要因により実際の業績が記載の予測と大幅に異なる場合があります。

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

# アジェンダ

1. 会社紹介
2. 業界動向
3. 51期(2019年10月期)の状況
4. 今後の戦略
5. 52期(2020年10月期)の業績見通し
6. 質疑応答



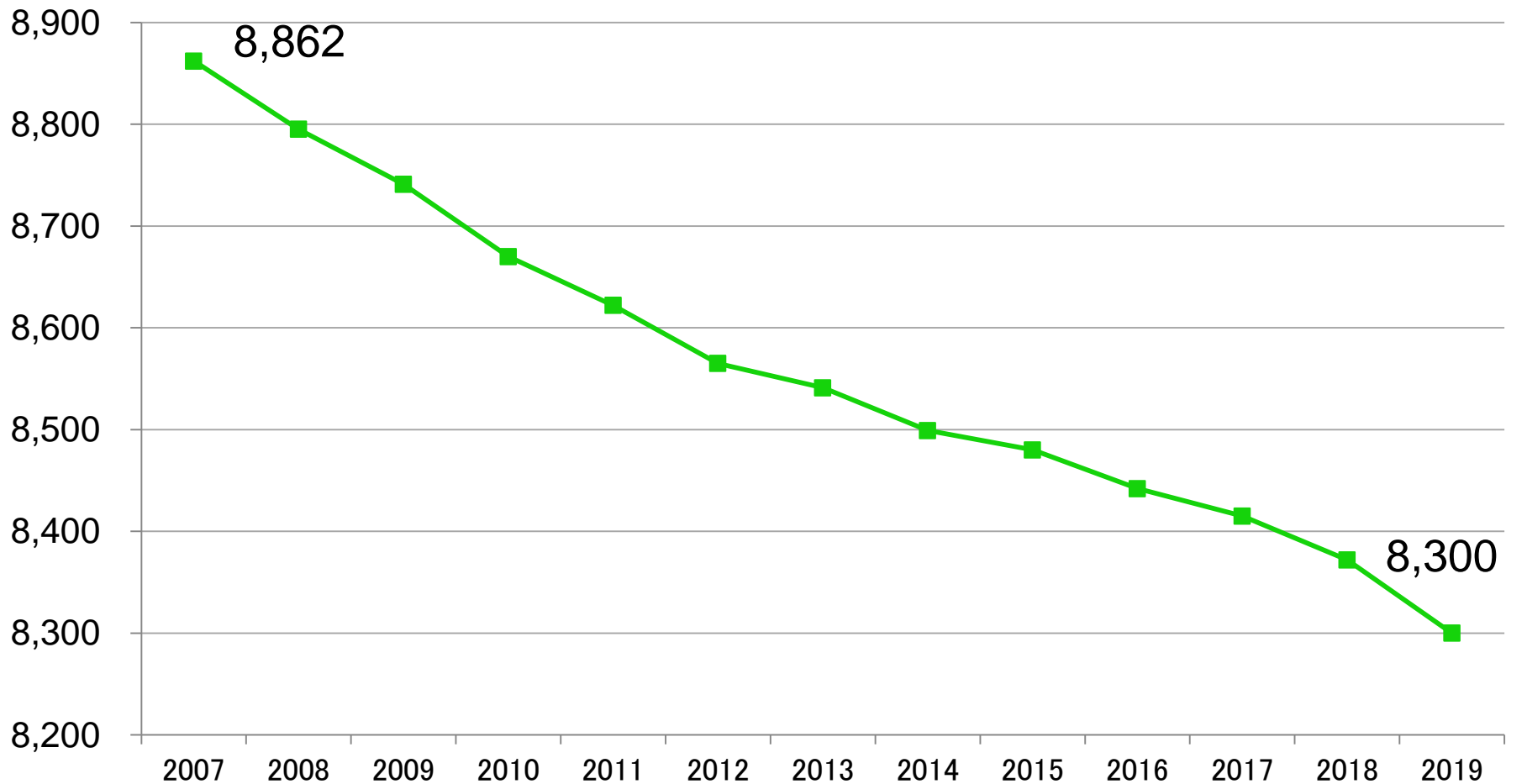
# 1. 会社紹介

# 会社概要

- 社名 株式会社ソフトウェア・サービス
  - 所在地 本店：大阪市淀川区西宮原2-6-1
  - 設立 1969年4月
  - 従業員 1,338名（2019年10月31日現在）
  - 資本金 847百万円（ジャスダック上場・2004年2月20日）
  - 事業内容 医療情報システム（専門特化）の開発・販売・導入・保守
  - ユーザー 672ユーザー <うち電子カルテユーザー：625>（2019.10現在）
  - 企業ポリシー
    - ①専門特化
    - ②創造価値
    - ③自主独立
- ⇒この3原則により「医療」「システム」の膨大なノウハウを蓄積し、「高品質・高機能」「適正価格」「顧客満足度向上」を実現

## 2. 業界動向

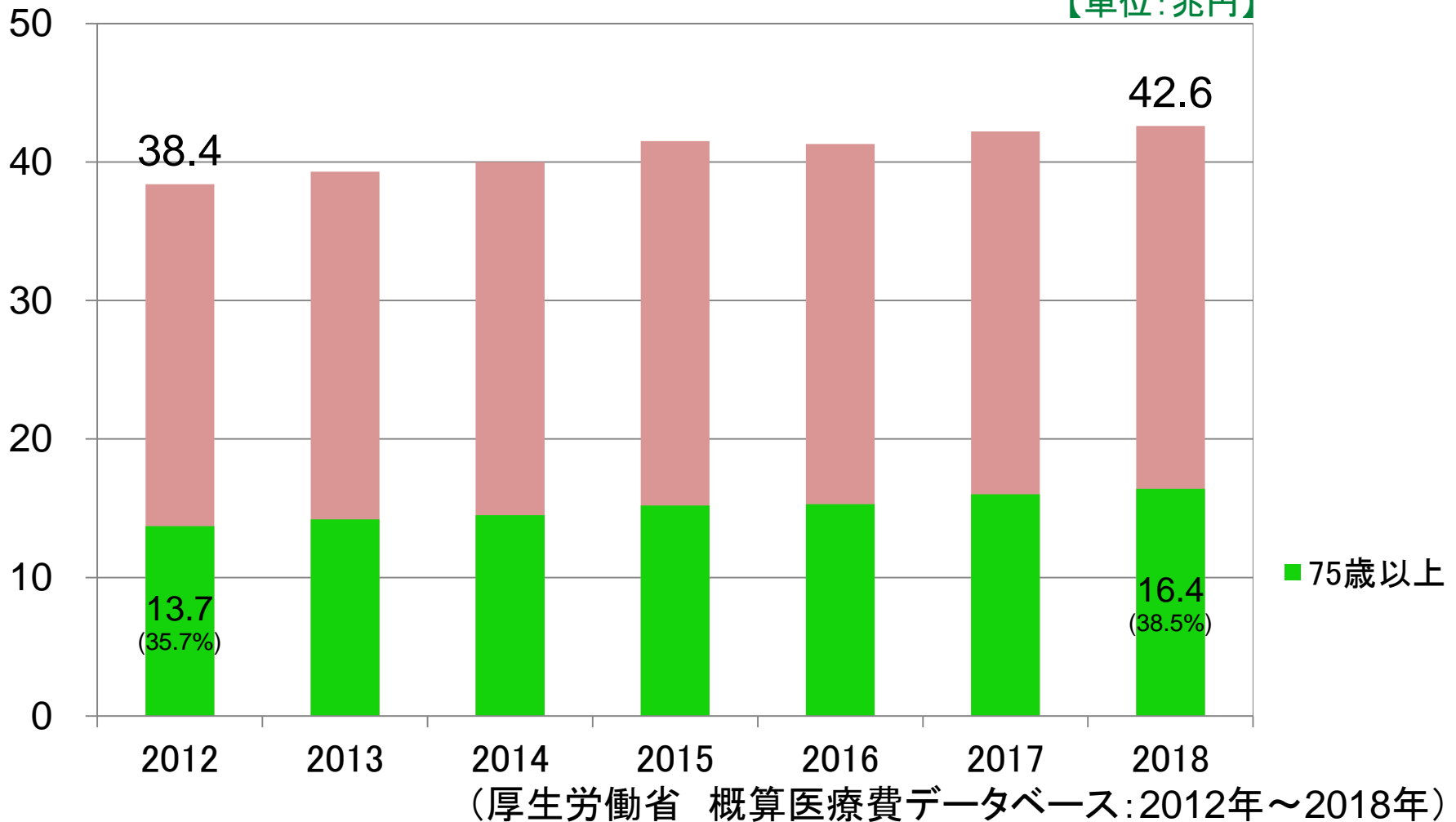
# 病院施設数の推移



(厚生労働省 医療施設動態調査:2007年9月~2019年9月)

# 概算医療費（速報値）の推移

【単位：兆円】





# 2020年度診療報酬改定

## ■ 2020年度診療報酬改定

⇒ 「全体で▲0.46%」だが、本体は+0.55%。  
その分、薬価を▲1.01%に。

## ■ 勤務医の働き方改革支援

⇒ 本体部分のうち、「+0.08%」を充当。

勤務医の長時間労働を是正するために、  
医療職の採用を増やし、業務分担を進める。

# 医療を取り巻く環境

## ■ 医療費の削減が国の重要な政策課題

○都道府県における「予防医療」の取り組みについて、  
努力に応じて交付金を増減させる。

○地域医療構想実現のため、  
「全世代型社会保障検討会議」を創設。

○オンライン資格確認

⇒マイナンバーカードを健康保険証として利用できる。

⇒2021年3月からの開始を目指す。

⇒過去の投薬履歴なども閲覧可能に。

医療保険制度の適正かつ効率的な運営を図るための健康保険法等の一部を改正する法律（概要資料）

## オンライン資格確認や電子カルテ等の普及のための医療情報化支援基金の創設

令和元年度予算 300億円

- 技術革新が進む中で、医療分野においてもICTを積極的に活用し、効率的かつ質の高い医療提供体制を構築していくことが急務である。このため、令和元年度において、医療情報化支援基金を創設し、医療分野におけるICT化を支援する。（地域における医療及び介護の総合的な確保の促進に関する法律の改正。令和元年10月1日施行）

### 医療情報化支援基金（令和元年度）の対象事業

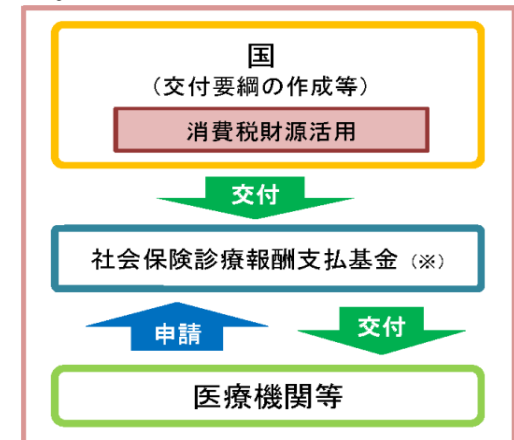
#### 1 オンライン資格確認の導入に向けた医療機関・薬局のシステム整備の支援

オンライン資格確認を円滑に導入するため、保険医療機関・薬局での初期導入経費（システム整備・改修等）を補助

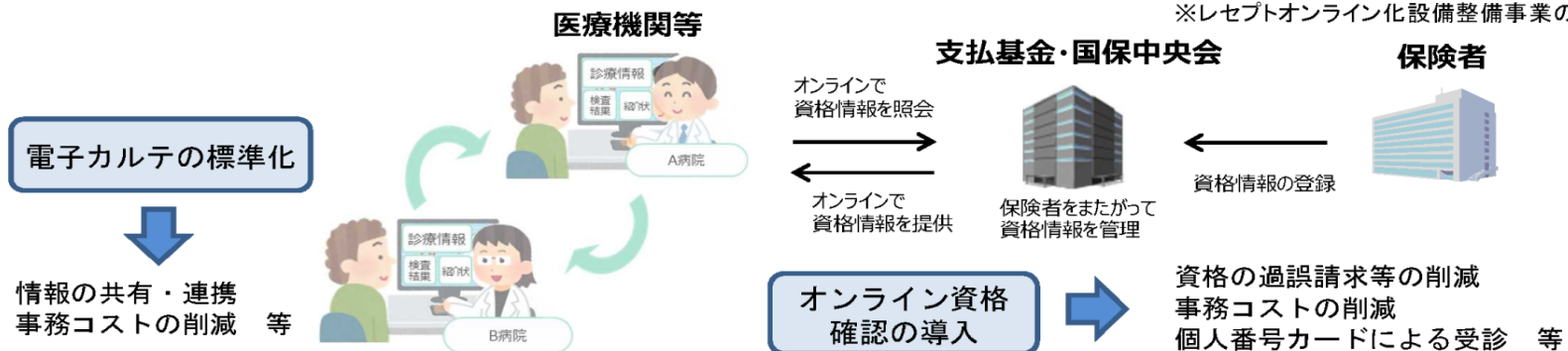
#### 2 電子カルテの標準化に向けた医療機関の電子カルテシステム等導入の支援

国の指定する標準規格を用いて相互に連携可能な電子カルテシステム等を導入する医療機関での初期導入経費を補助

〔支援スキーム〕



※レセプトオンライン化設備整備事業の実績有り



（厚生労働省「医療保険制度の適正かつ効率的な運営を図るための健康保険法等の一部を改正する法律の成立について」）

# 業界状況

## ■ 電子カルテの普及状況

- ・電子カルテの導入数は、3,428病院。  
普及率は41%。当社シェアは20%。  
⇒政策的にも電子化が迫られている状況。  
⇒地域包括ケアシステム(二次医療圏)において、  
住み慣れた地域で、住まい・医療・介護・予防・生  
活支援を一体的に提供するためには、情報共有が  
最重要。業界内のプレイヤーは絞られてきている。

(数値は「月刊新医療 医療機器システム白書2020」より)

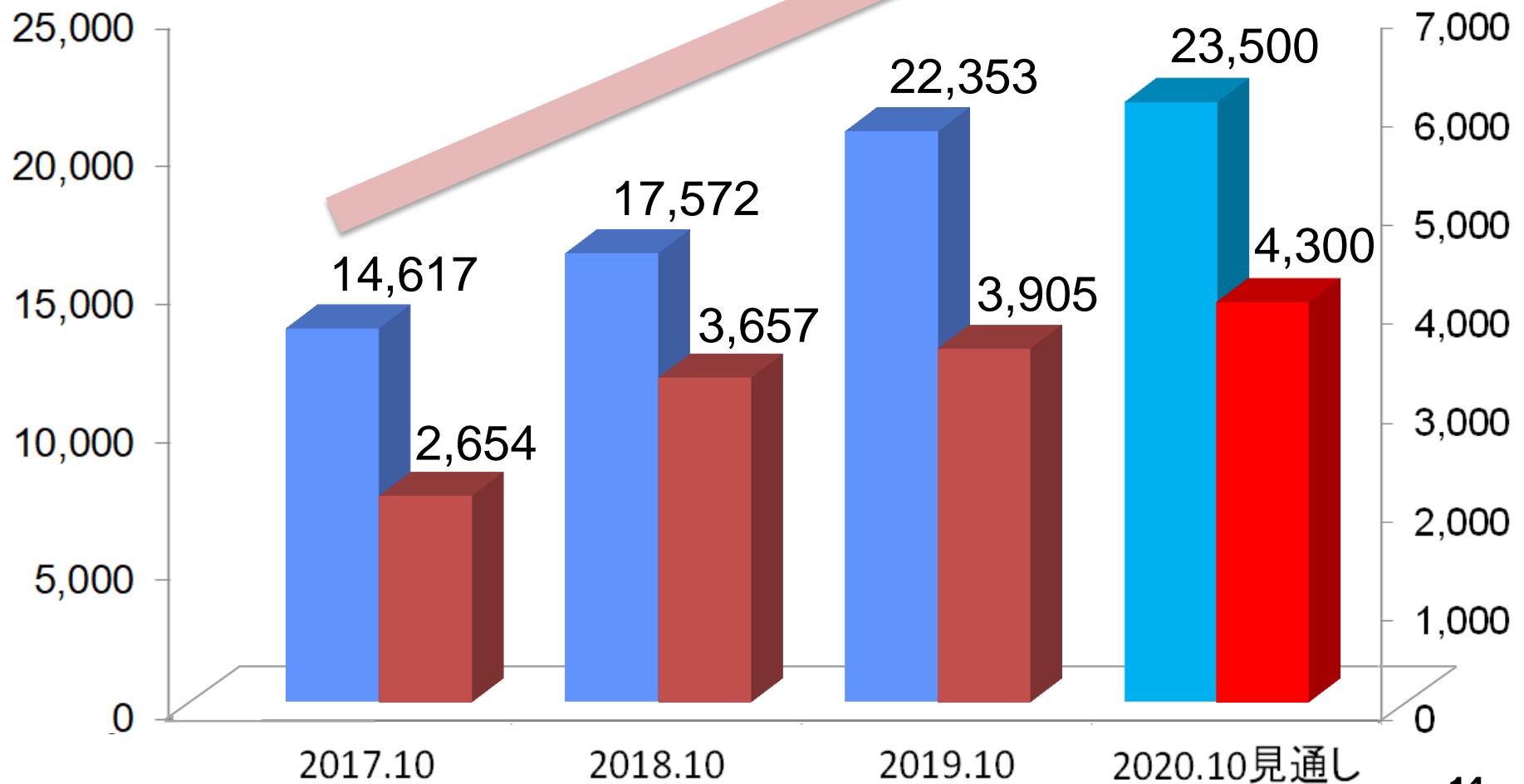
## 3. 51期(2019年10月期)の状況

# 事業年度の売上高・経常利益の推移

■ 売上高  
■ 経常利益

52期見通し

【単位：百万円】

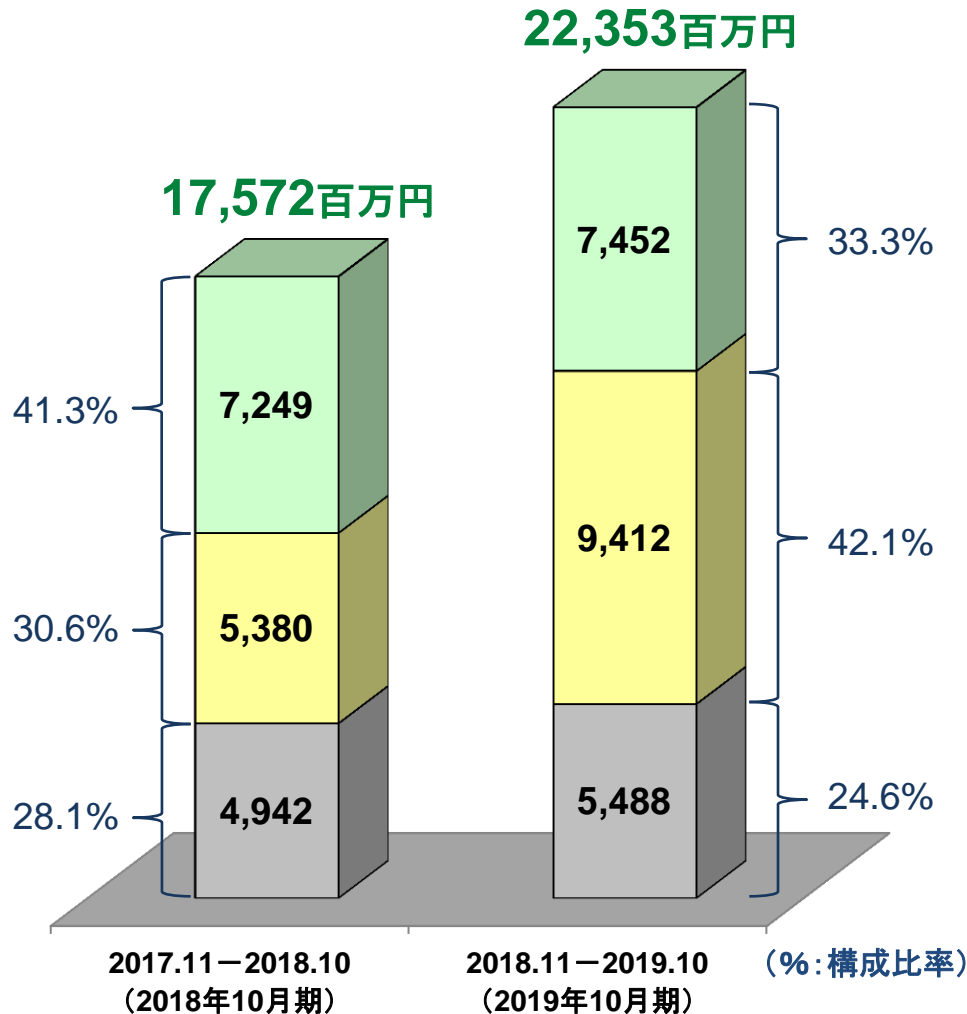


# 業績の概要(前年同期比較)

【単位：百万円】

	2017.11-2018.10 (前年同期)		2018.11-2019.10 (2019年10月期)		増減率
	金額	構成比	金額	構成比	
売上高	17,572	100.0%	<b>22,353</b>	100.0%	27.2%
売上総利益	5,177	29.5%	<b>5,803</b>	26.0%	12.1%
営業利益	3,603	20.5%	<b>3,868</b>	17.3%	7.3%
経常利益	3,657	20.8%	<b>3,905</b>	17.5%	6.8%
当期純利益	2,531	14.4%	<b>2,702</b>	12.1%	6.8%

# 売上高構成比(前年同期比較)



## 【総売上高】

**4,780百万円 増 (+ 27.2%)**

### ソフトウェア売上高

**202百万円 増 (+ 2.8%)**

### ハードウェア売上高

**4,031百万円 増 (+ 74.9%)**

### 保守売上高

**546百万円 増 (+ 11.1%)**

注: ( )内は増減率



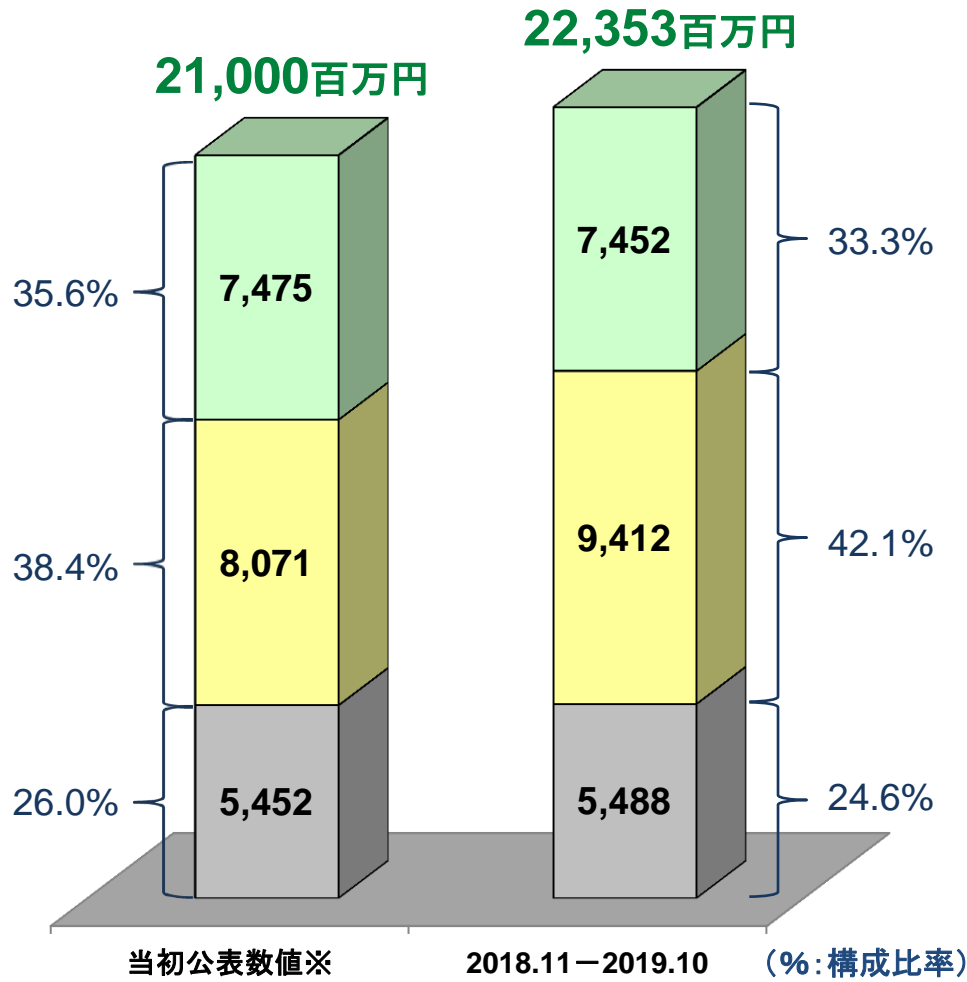
# 業績の概要(公表数値比較)

【単位：百万円】

	当初公表数値(※)		2018.11-2019.10 (2019年10月期)		増減率
	金額	構成比	金額	構成比	
売上高	21,000	100.0%	<b>22,353</b>	100.0%	6.4%
売上総利益	5,818	27.7%	<b>5,803</b>	26.0%	▲0.3%
営業利益	3,973	18.9%	<b>3,868</b>	17.3%	▲2.6%
経常利益	4,000	19.0%	<b>3,905</b>	17.5%	▲2.4%
当期純利益	2,776	13.2%	<b>2,702</b>	12.1%	▲2.6%

※ 2018年12月7日公表

# 売上高構成比(公表数値比較)



## 【総売上高】

**1,353百万円増 (+ 6.4%)**

### ソフトウェア売上高

**23百万円減 (▲ 0.3%)**

### ハードウェア売上高

**1,341百万円増 (+ 16.6%)**

### 保守売上高

**36百万円増 (+ 0.7%)**

注:( )内は増減率

# 上期稼働病院

No	稼働月	病院名	所在地	病床数	オーダーリング	e-カルテ
1	11月	佐田病院	福岡	180	●	●
2	11月	東鷲宮病院	埼玉	163	●	●
3	11月	巨摩共立病院※①	山梨	151	●	●
4	11月	玉島協同病院※①	岡山	108	●	●
5	12月	多根総合病院	大阪	304	●	●
6	12月	南部病院※①	沖縄	188	●	●
7	12月	松戸リハビリテーション病院(カマチグループ)	千葉	180	●	●
8	12月	非公開	大阪	178	医事会計のみ	—
9	12月	寒河江市立病院(公的)	山形	98	導入済	●
10	12月	宇都宮リハビリテーション病院(カマチグループ)※②	栃木	96	●	●
11	12月	非公開	大阪	62	医事会計のみ	—

※① 弊社旧システムからのリプレイス稼働

※② 医事会計のみ先行導入済

# 上期稼働病院

No	稼働月	病院名	所在地	病床数	オーダリング	e-カルテ
12	12月	国民健康保険川崎病院(公的)	宮城	58	●	—
13	12月	多根脳神経リハビリテーション病院	大阪	50	●	●
14	1月	東京品川病院(カマチグループ)	東京	296	●	●
15	1月	九州大学病院別府病院(公的)	大分	140	●	●
16	2月	協立温泉病院※①	兵庫	465	●	●
17	2月	水島協同病院※①	岡山	282	●	●
18	2月	健和会病院※①	長野	199	●	●
19	2月	池田病院	大阪	199	●	●
20	2月	門司掖済会病院	福岡	199	●	—
21	2月	佐々総合病院	東京	183	導入済	●
22	2月	コープおおさか病院	大阪	166	●	●

※① 弊社旧システムからのリプレイス稼働

# 上期稼働病院

No	稼働月	病院名	所在地	病床数	オーダーリング	e-カルテ
23	2月	コープリハビリテーション病院※②	岡山	127	●	●
24	3月	中国労災病院(公的)※①	広島	410	●	●
25	3月	千葉労災病院(公的)※①	千葉	400	●	●
26	3月	非公開	大阪	253	●	●
27	3月	総合病院 落合病院	岡山	173	●	●
28	3月	嶋田病院	福岡	150	●	●
29	3月	よこすか浦賀病院	神奈川	99	●	●
30	3月	サカ緑井病院	広島	32	●	●
31	4月	千木病院※②	石川	500	●	●
32	4月	高槻赤十字病院(公的)※①	大阪	446	●	●
33	4月	宮崎江南病院(JCHO)	宮崎	269	●	●

※① 弊社旧システムからのリプレイス稼働  
 ※② 医事会計のみ先行導入済

# 上期稼働病院

No	稼働月	病院名	所在地	病床数	オーダリング	e-カルテ
34	4月	千葉愛友会記念病院	千葉	268	●	●
35	4月	金沢脳神経外科病院※①	石川	220	●	●
36	4月	タムス浦安病院	千葉	199	●	●
37	4月	大正病院	大阪	173	●	●
38	4月	武蔵野陽和会病院	東京	103	●	●
39	4月	不二越病院	富山	60	●	●

※① 弊社旧システムからのリプレイス稼働

# 下期稼働病院

No	稼働月	病院名	所在地	病床数	オーダリング	e-カルテ
40	5月	岐阜県立多治見病院(公的)	岐阜	575	●	●
41	5月	あさかホスピタル※①	福島	495	●	●
42	5月	総合病院 厚生中央病院	東京	320	●	●
43	5月	マツダ病院※①	広島	270	●	●
44	5月	旭労災病院(公的)	愛知	250	●	●
45	5月	関野病院	東京	112	●	●
46	6月	東京新宿メディカルセンター(JCHO)※①	東京	520	●	●
47	6月	丸山記念総合病院	埼玉	241	●	●
48	6月	非公開	神奈川	228	医事会計のみ	—
49	6月	北松中央病院(公的)※①	長崎	189	●	●
50	6月	野口病院	大分	120	●	●

※① 弊社旧システムからのリプレイス稼働

# 下期稼働病院

No	稼働月	病院名	所在地	病床数	オーダーリング	e-カルテ
51	6月	明生リハビリテーション病院(カマチグループ)※②	埼玉	111	●	●
52	6月	タムス市川リハビリテーション病院	千葉	100	●	●
53	6月	恒生かのこ病院	兵庫	55	●	●
54	7月	公立那賀病院(公的)※①	和歌山	304	●	●
55	7月	みさと健和病院※①	埼玉	282	●	●
56	7月	西横浜国際総合病院※①	神奈川	188	●	●
57	7月	みどり野リハビリテーション病院(カマチグループ)※②	神奈川	131	●	●
58	7月	南港病院	大阪	109	●	●
59	8月	富山県済生会富山病院(公的)※①	富山	250	●	●
60	8月	下呂市立金山病院(公的)	岐阜	99	導入済	●
61	8月	ほうゆうリハビリテーション病院(生和会グループ)	京都	88	●	●

※① 弊社旧システムからのリプレイス稼働  
 ※② 医事会計のみ先行導入済



# 下期稼働病院

No	稼働月	病院名	所在地	病床数	オーダリング	e-カルテ
62	8月	登川クリニック	沖縄	-	●	●
63	9月	千葉県がんセンター(公的)※①	千葉	341	●	●
64	9月	東近江総合医療センター(NHO)	滋賀	320	●	●
65	9月	大阪みなと中央病院(JCHO)	大阪	275	導入済	●
66	9月	湘南厚木病院(徳洲会グループ)※①	神奈川	253	●	●
67	9月	樫本病院	大阪	199	●	●
68	10月	赤穂中央病院(伯鳳会グループ)※①	兵庫	265	●	●
69	10月	りつりん病院(JCHO)	香川	199	●	●
70	10月	藤井病院	広島	114	●	●
71	10月	平戸市民病院(公的)※①	長崎	100	●	●
72	10月	王子回生病院	兵庫	69	●	●

※① 弊社旧システムからのリプレイス稼働

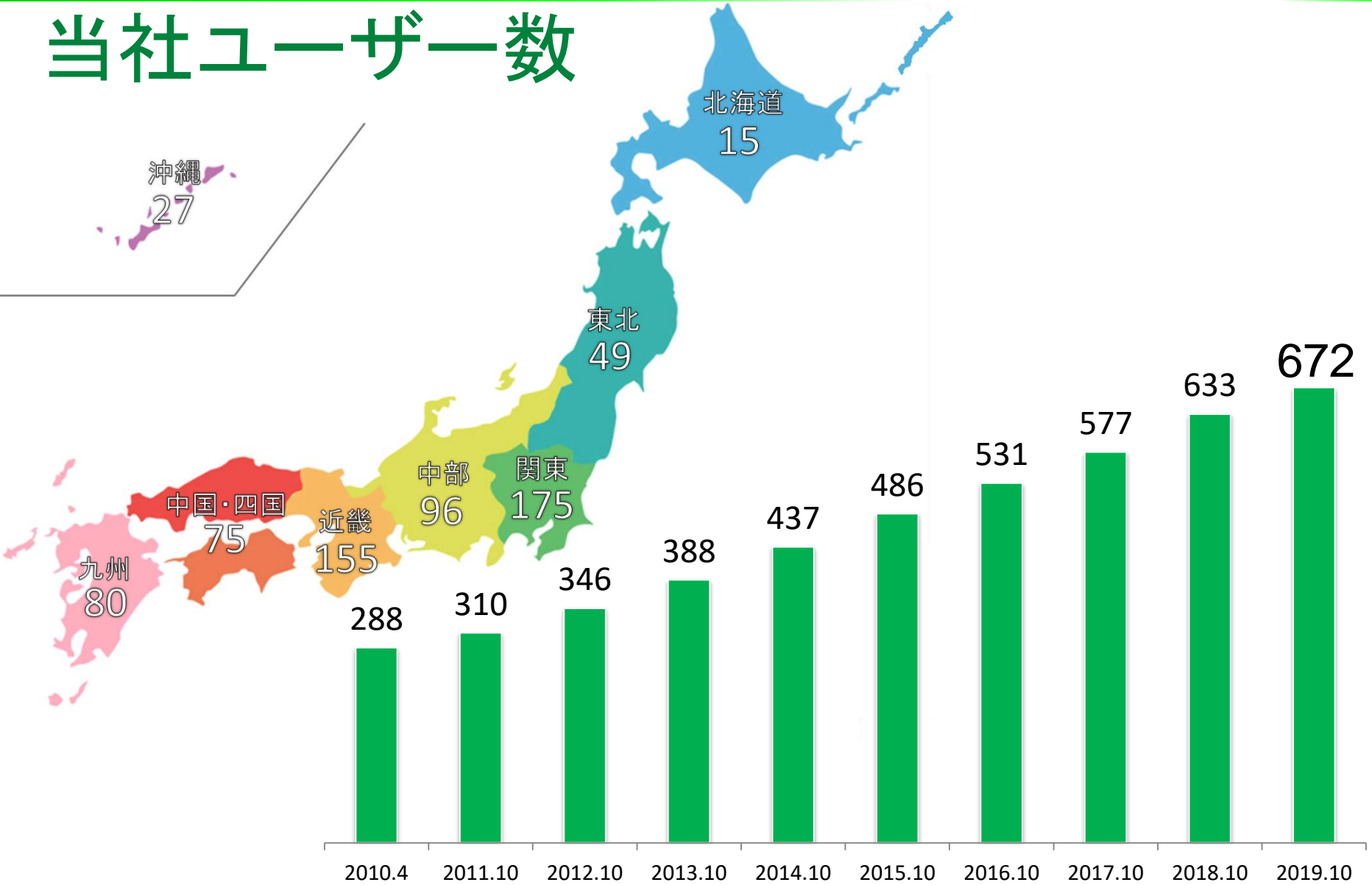
# 下期稼働病院

No	稼働月	病院名	所在地	病床数	オーダーリング	e-カルテ
73	10月	平戸市立生月病院(公的)	長崎	60	導入済	●
74	10月	赤穂はくほう会病院(伯鳳会グループ)	兵庫	33	●	●

## <グループ病院の累計数> 2019年10月末現在

徳洲会グループ:	65病院(全 71病院)
カマチグループ:	23病院(全 24病院)
国立病院機構(NHO):	17病院(全141病院)
国家公務員共済組合連合会(KKR):	9病院(全 42病院)
伯鳳会グループ:	8病院(全 10病院)
地域医療機能推進機構(JCHO):	6病院(全 57病院)
生和会グループ:	5病院(全 15病院)

# 当社ユーザー数



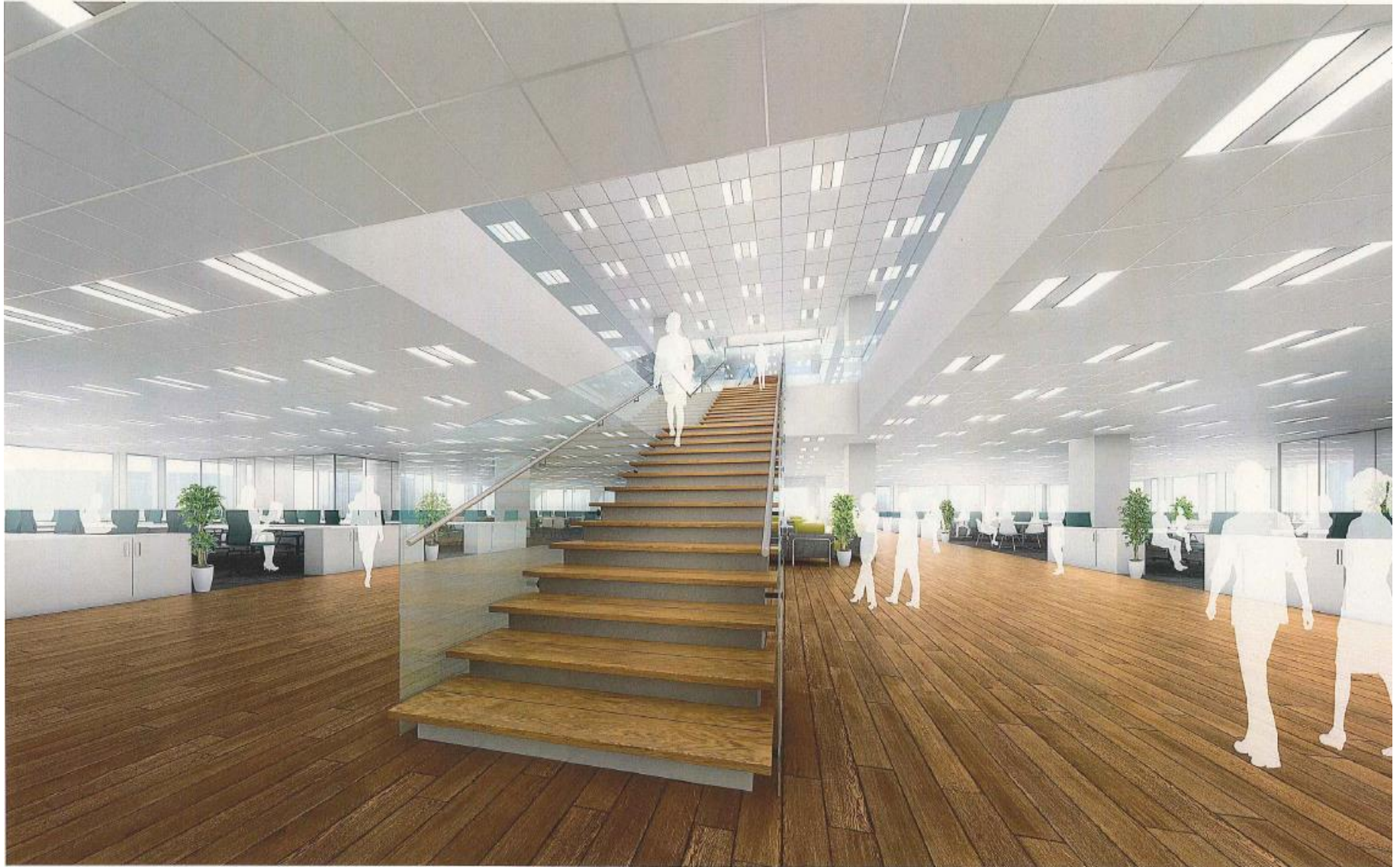
## 4. 今後の戦略

# 今後の戦略

- ▶ 2022年春を目途に、「東京支社」を建設。  
大田区山王に用地取得済。
- ▶ 東京をはじめとする東日本地域をはじめ  
地域有力グループ病院を積極的に深耕。  
いっそうのシェアアップを目指す。
- ▶ 人事制度改革⇒マネジメント層を強化。

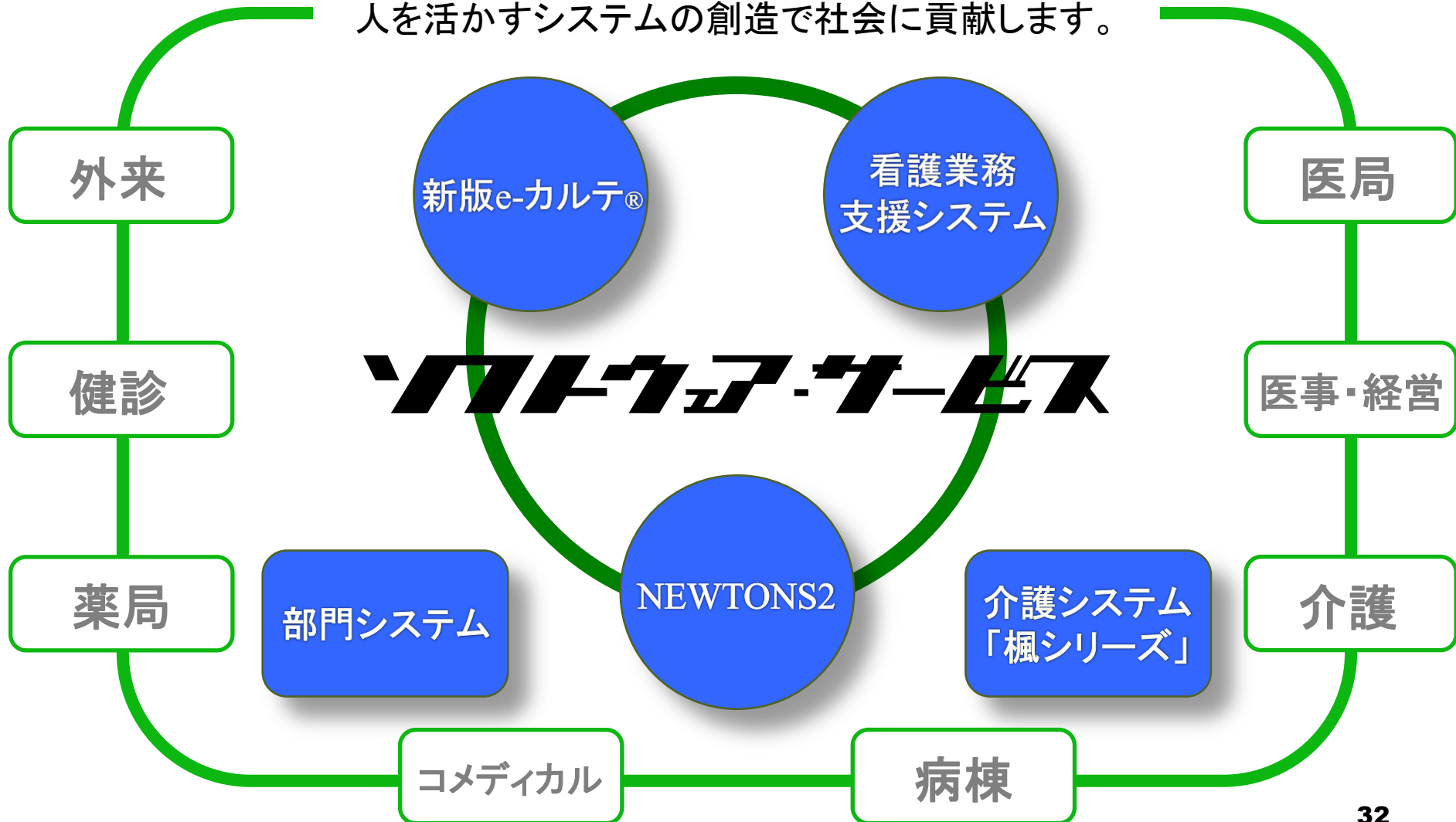






# 当社システムラインナップ

人を活かすシステムの創造で社会に貢献します。





# 当社システムラインナップ

<b>基幹システム</b>	オーダーリングシステム(Newtons2)	電子カルテシステム(新版e-カルテ®)
看護支援システム		
<b>部門システム</b>	DPC関連システム	再来受付機システム
病歴システム	クリティカル・パスシステム	抗がん剤プロトコルシステム
Newtons Mobileシステム	待受表示(診察・会計・投薬)システム	レセプトチェックデータベース
眼科検査データ管理システム	歯科システム	インシデント・アクシデントシステム
年間定期検査スケジュールシステム	周産期管理システム	Web診療予約システム
預り金管理システム(精神科)	がん登録システム	病病・病診連携Web構築
臨床検査システム	細菌検査システム	病理検査システム
輸血管理システム	リハビリシステム	給食システム
透析管理システム	ドック・健診システム	特定保健指導システム
感染管理システム	ME機器管理システム	検体管理システム
物品管理システム	麻酔記録システム	医用画像情報システム(SeavoPACS®)
財務会計システム	勤務管理システム	
<b>介護システム</b>	訪問系介護請求システム	特定施設入所介護請求システム
居宅介護支援システム	病院入所介護請求システム	居宅療養管理指導請求システム
通所系介護請求システム	老健介護請求システム	小規模多機能介護請求システム
訪問看護ステーションシステム		
<b>管理システム</b>	SSI SCOPE(データ検索)	
<b>地域連携システム</b>	地域包括ケアシステム(CareMill®)	

# 今後の戦略 <人事面>

## 経営戦略に適合した人材採用・育成計画

2018年 128名 2019年 133名 2020年 144名入社予定。

## 生産性を高めるための取組み(人事制度改革)

次長職に対する「多面的評価制度」を導入。

次長候補者の「事前選抜および育成」を開始。

中間層に対する「上級マネジメント研修制度」の開始。

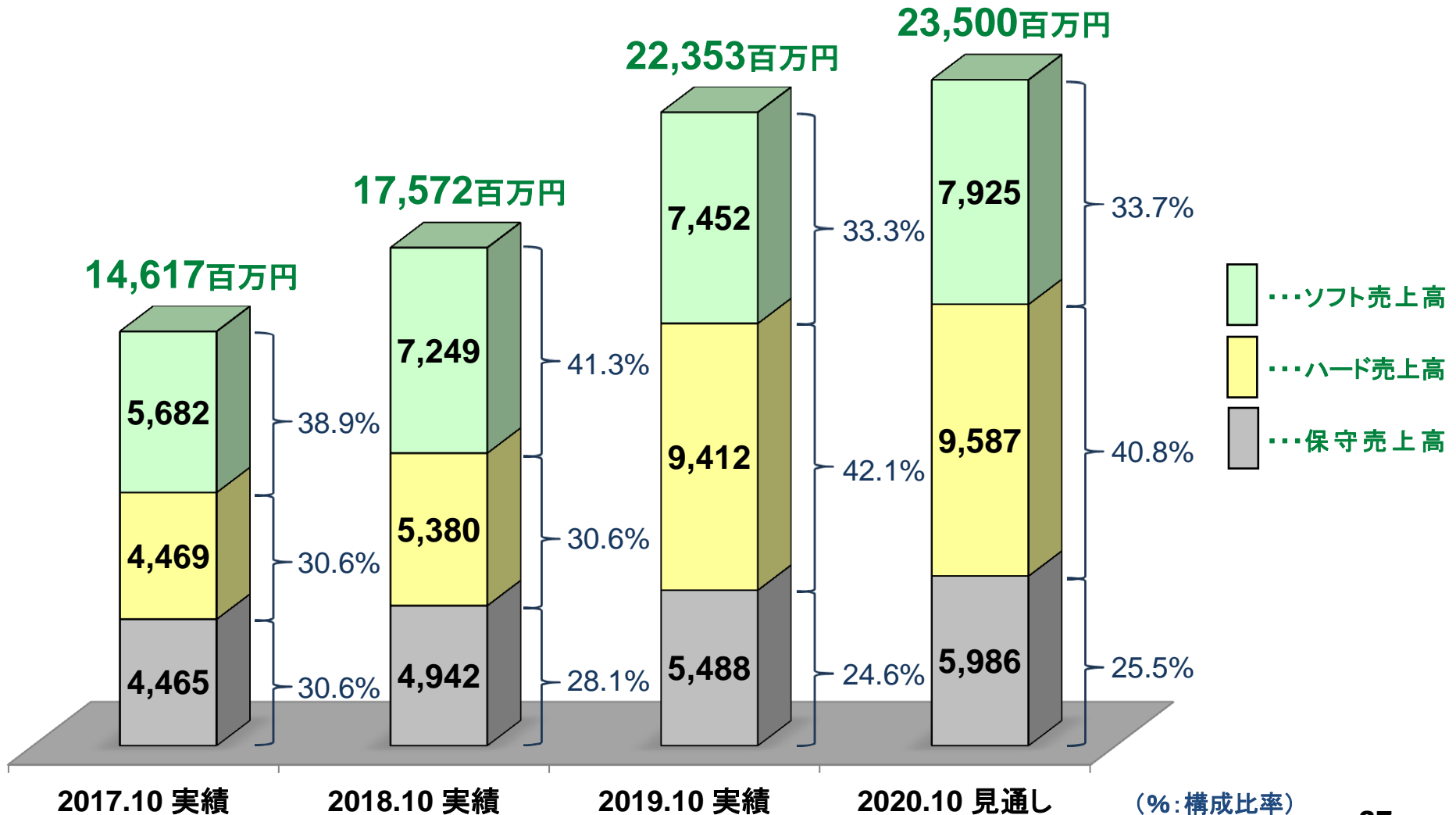
# 5. 52期(2020年10月期)業績見通し

# 業績の概要（実績及び見通し）

【単位：百万円】

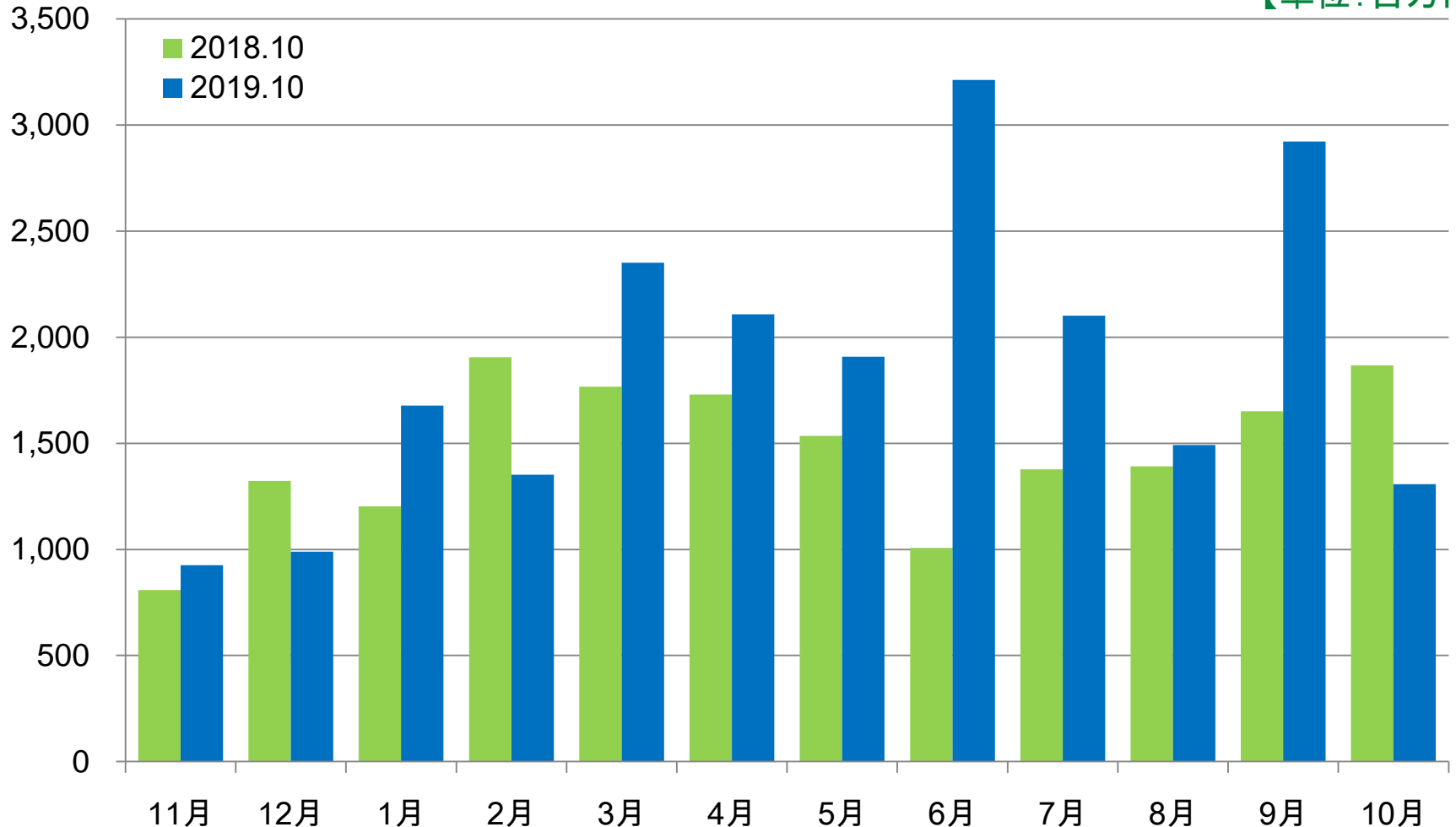
	2017.10 実績		2018.10 実績		2019.10 実績		2020.10 見通し	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
売上高	14,617	100.0%	17,572	100.0%	22,353	100.0%	<b>23,500</b>	100.0%
売上総利益	3,847	26.3%	5,177	29.5%	5,803	26.0%	<b>6,353</b>	27.0%
営業利益	2,605	17.8%	3,603	20.5%	3,868	17.3%	<b>4,238</b>	18.0%
経常利益	2,654	18.2%	3,657	20.8%	3,905	17.5%	<b>4,300</b>	18.3%
当期純利益	1,885	12.9%	2,531	14.4%	2,702	12.1%	<b>2,984</b>	12.7%
1株当たり 当期純利益	354円11銭	—	474円61銭	—	496円66銭	—	<b>548円38銭</b>	—

# 売上高構成比



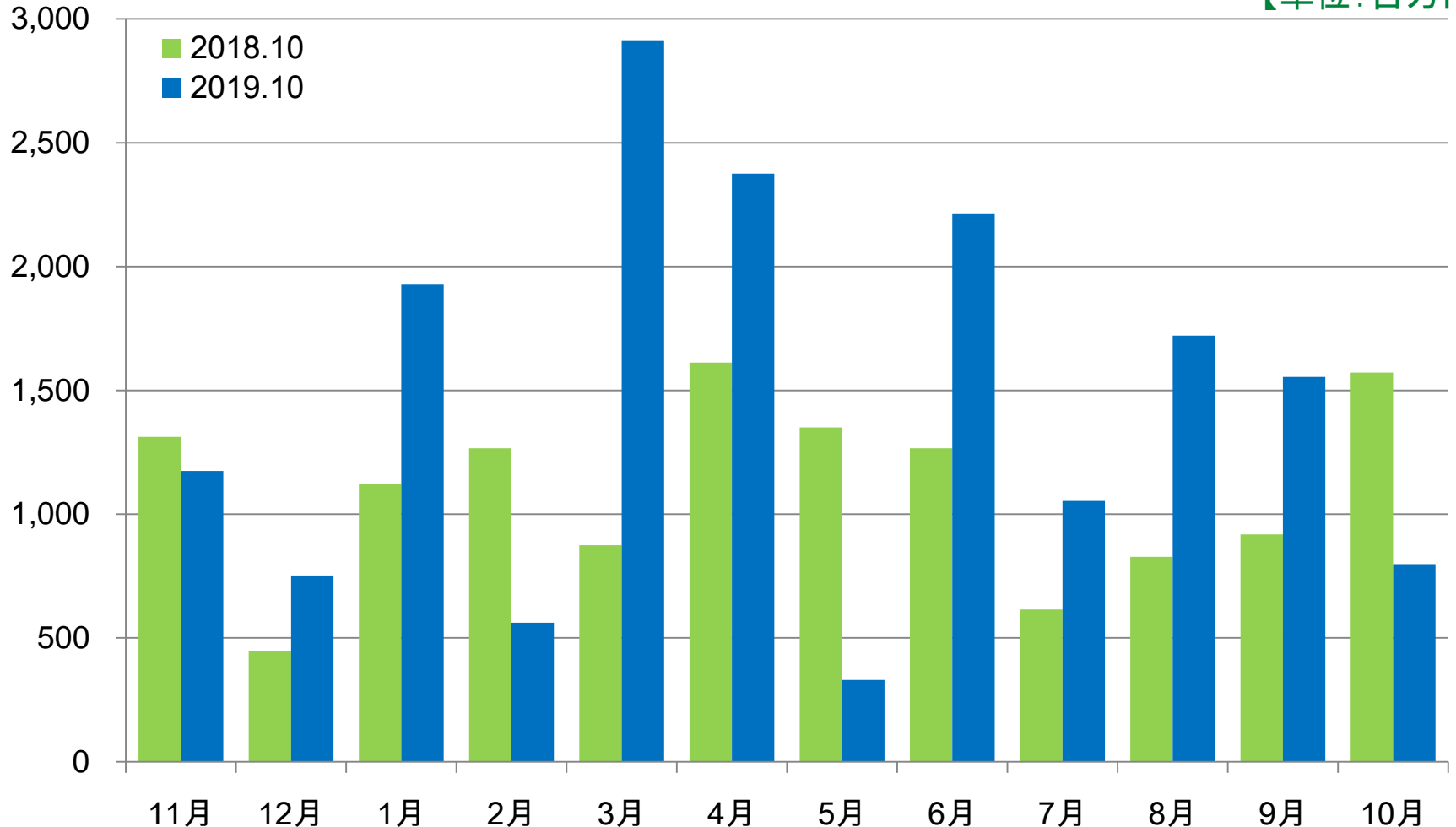
# 売上高の月次推移

【単位：百万円】



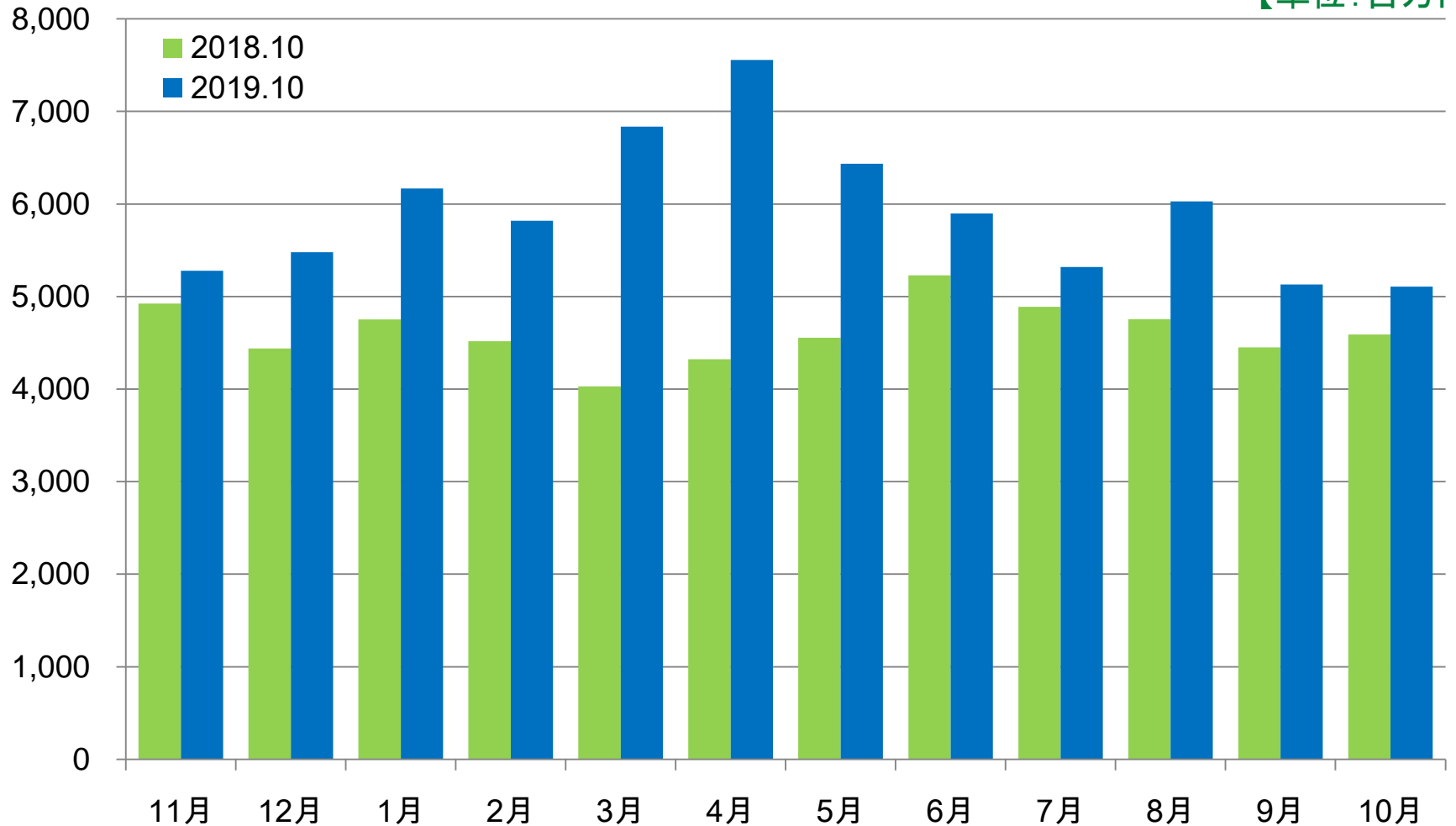
# 受注高の月次推移

【単位：百万円】



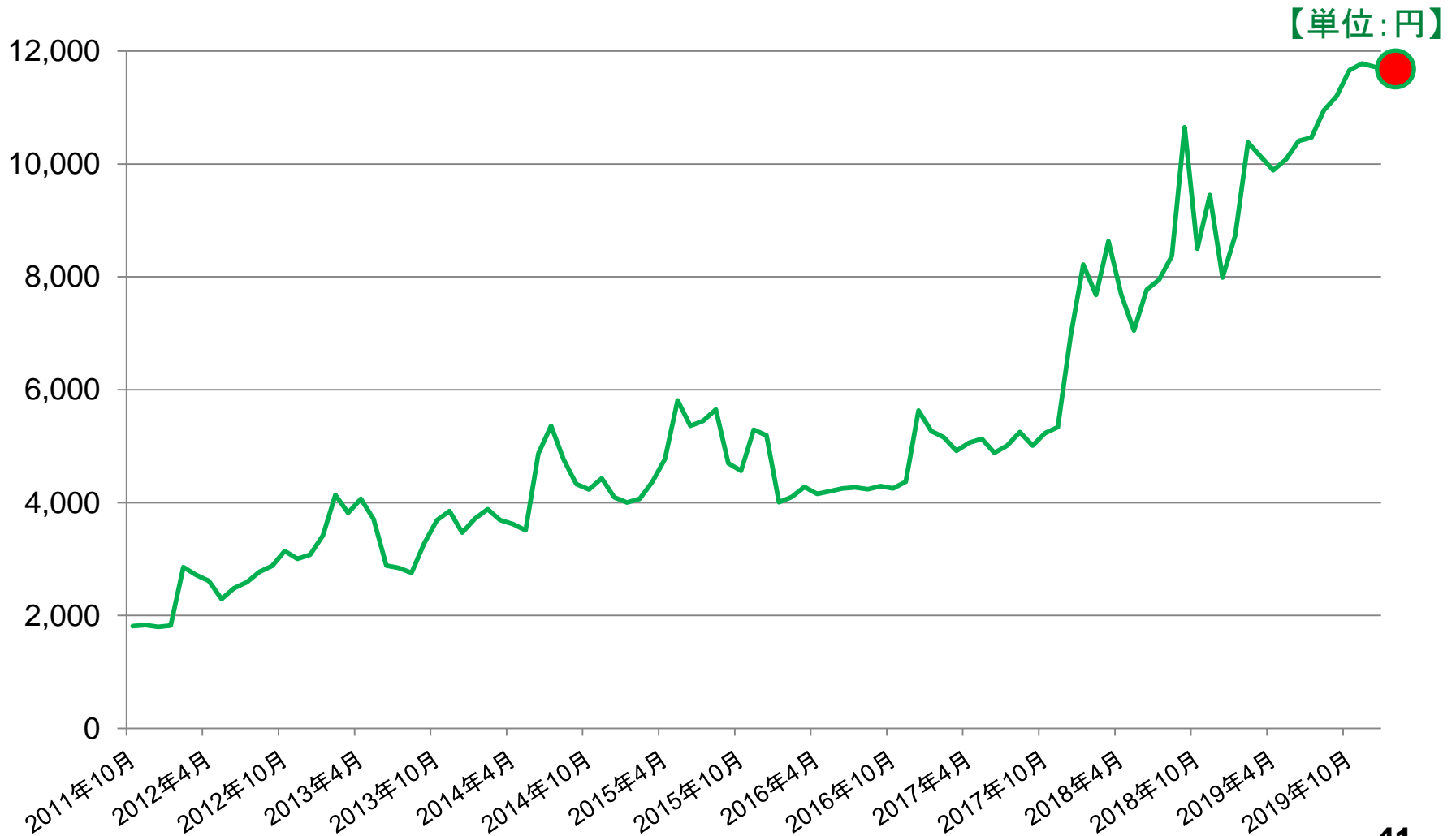
# 受注残高の月次推移

【単位：百万円】

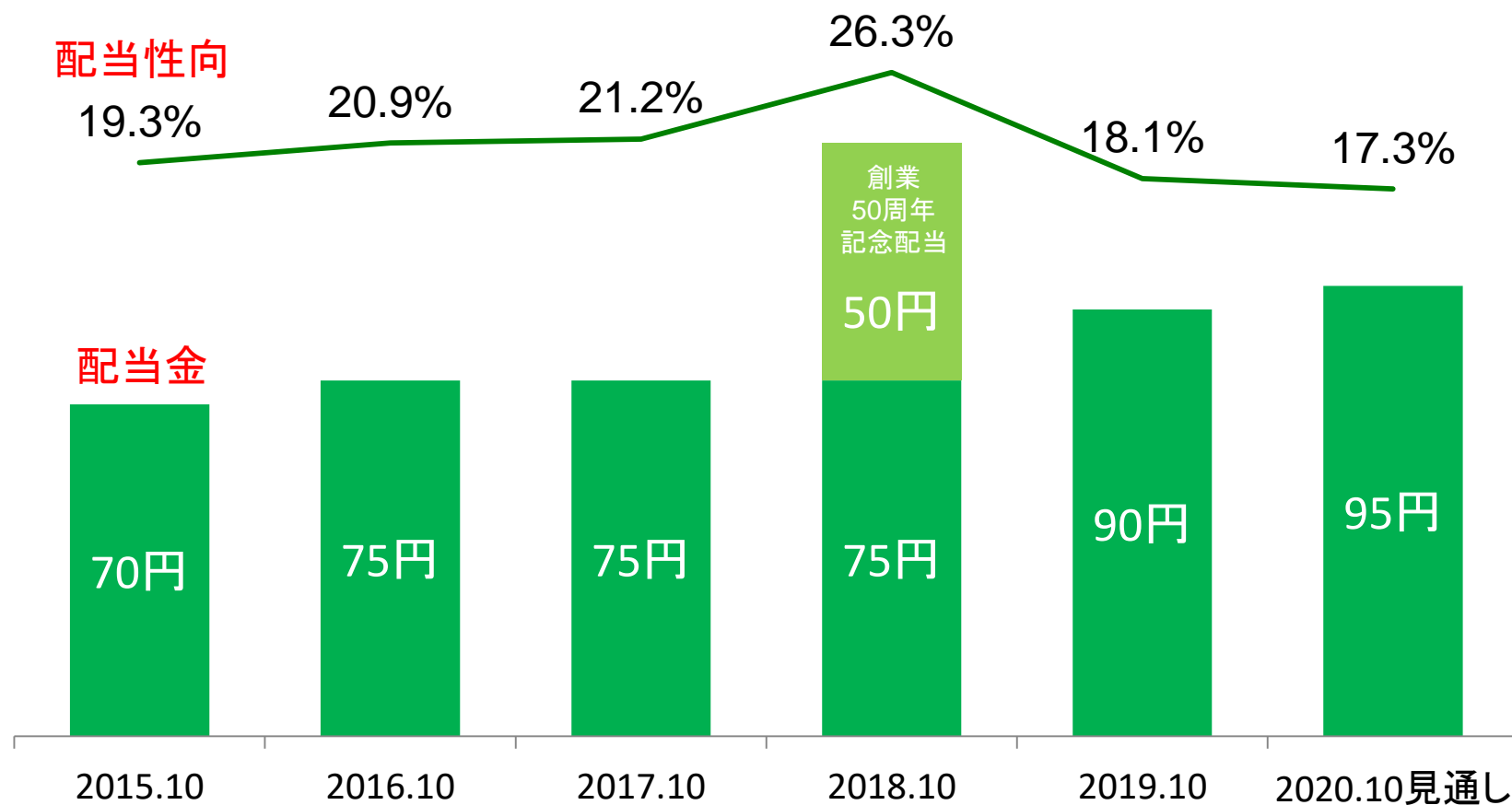




# 株価の推移 (2011年10月末～2019年10月末終値)



# 配当の推移



注1: 2019年10月期の配当金及び配当性向については、第51回定時株主総会による配当議案が決議された場合の数値を記載しております。

注2: 2020年10月期の配当金及び配当性向については、2020年1月8日現在の2020年10月期配当予想に基づいて記載しております。

## 6. 質疑応答

ご清聴ありがとうございました。

## 株式会社ソフトウェア・サービス

代表取締役会長	宮崎 勝
取締役社長	大谷 明広
取締役経営管理部長	伊藤 純一郎